

Love Earth, Love Speed.

女子カート部

活動記 Vol. 33



私塚本奈々美が、女子パワーでモータースポーツを盛り上げようと、タレント、モデル仲間を集めて2007年に女子カート部 (JKB) を設立して7年、今季はいよいよ7期生を迎え、モータースポーツ活動とタレント活動をより充実させるべく新プロジェクト、題して<JKBneoプロジェクト>を発進させます。「neo」=「ネオ、

新しい」と銘打つJKBの13年の活動は、塚本奈々美がフォーミュラレースに参戦する<JKBフォーミュラ・チャレンジ>と7期生のタレントたちによる芸能人最速女子カーターを決める<JKBneoライドファイト>の2つの企画からスタートします。



FUNカートライドのキックオフライドに参加したJKBメンバー：左から塚本奈々美、黒澤恵里、北川千晴、吉澤奈津紀、白川すなお、松上祐子、谷川万純、萩原紀子

目指せ!スピードスター、芸能人最速女子カーターGP <JKBneoライドファイト>

カート活動では、もてぎK-TAIのMVP、トヨタSL全国大会レディース優勝、ジャパンカートカップシリーズ3連覇、自作のERK(電動レーシングカート)でジャパンEVフェスティバル優勝・・・などこれまで幅広い活動を展開し、さまざまなメディアにも登場してきたJKBですが、今季<JKBneoプロジェクト>では、カートや4輪経験のある女子の入門による「最強女子チーム」を目指します。

同時に、カート初心者向け企画として、カート未経験者のタレントチームを作り、その新人たちがカートに挑戦し成長して行く姿を<JKBneoライドファイト>としてジャパンカート誌上で紹介して行きます。彼女たちの経験を通じて、女性やお子さんたちにもカートの楽しさを知ってもらえればとの願いを込めた企画です。

彼女たちのレッスンの場として、このたびお台場にあるメガウェブのFunカート

ライドにご協力頂くことになりました。www.megaweb.gr.jp/

このタレントチームは、Funカートライドでの練習を重ね、今年の秋には選抜メンバーが富士スピードウェイのフルコースで開催されるジャパンカートカップに出場することを目指しています。

こうして彼女たち自身がドライバーとして活動することで、クルマやモータースポーツを理解し、そこで学んだ楽しさを、彼女たちのタレント活動の中でより広い層に発信して行きたいと思っています。「あれ、彼女たちカートチームなんだ〜」、「へえ、カートって女の子でもやれるんだ〜」って、普段モータースポーツとの接点のない方々に少しでも知ってもらえたら嬉しいですね。

わたしたち、JKB7期生です!よろしくね



松上祐子(ゆうちゃん)
東京オートサロン2013
「86&BRZワールド」ほか出演

城川すなお(すう)
CM「バンテリン新ミニバット」
「日本工学院専門学校」ほか出演

谷川万純(まあみ)
TV「カラマツソフの兄弟」、
「全力坂」、「カルテット」ほか出演

北川千晴(ちー)
TV「相棒ten」、
「お願いランキング」ほか出演

吉澤奈津紀(なちゅ)
JKカップ、
もてぎK-TAI ほか出演

彼女たちのキックオフ・ライドとなる初練習が、2月15日にFUNカートライドで行われました。参加したのは女子カート部の部長塚本奈々美、タレントチームのコーチ4期生黒澤恵里、エンタメコーチの6期生萩原紀子、そして7期生の松上祐子、北川千晴、谷川万純、城川すなお、吉澤奈津紀の5人。今後さらに数名の女性タレントの参戦が予定されています。

いずれ富士スピードウェイでデビューする前に、皆さんのいるサーキットでも彼女たちがバトルの練習するようになると思いますが、彼女たちを見かけたらぜひ声をかけて応援してあげてください。

詳しくは78ページの「目指せ!スピードスター、芸能人最速女子カーターGP <JKBneoライドファイト>」第1回をぜひお読みください。

女子カート部 (JKB) 7周年、7期生を迎えて、新プロジェクト発進! <JKBフォーミュラ・チャレンジ> + <JKBneoライドファイト>



<JKB Formula Challenge> powered by ZAP SPEED

カート入門者に対してJKBの新人たちがゼロからカートを学ぶ楽しい企画<JKBneoライドファイト>をスタートさせる一方、カート経験者でカートからのステップアップを夢見る皆さんに向けては、私塚本奈々美がフォーミュラにチャレンジして、その経験を皆さんにお伝えすることが出来ないかと考

え、今回<JKBフォーミュラ・チャレンジ>企画をスタートすることになりました。こちらは「楽しい」というより「ガチンコ」の世界、文字通り覚悟を決めての挑戦=チャレンジとなります。

「女性には体力的にフォーミュラはきついんじゃないの?」って声もある中、なぜフォーミュラかって?

フォーミュラって、走る事を追求する為にあるクルマと言っても過言じゃないと思います。だから余計な贅肉が無く、全てがダイレクトに感じられるし、反応します。例えば、ステア(ハンドル)の蛇角(=タイヤの向き)なんて、僅か2度くらいの切れ角が曲がるかスピンするかの差であったり、車高1mmでも特性が大きく変わってしまうのがフォーミュラの世界。それを極められるかどうかは鍛錬次第です。

フォーミュラと言っても、入門クラスが一番軽いクルマでも400kg位の重さがあるから、カート経験者だと最初はカートのように止まらない、曲がらない、おまけに重い、反応が遅いという印象を持つと思います。でも、それはタイミングが合っていないとか、クルマの動きも感じられていないし、キチンとコントロール出来ていないからで、ましてやクルマの構造も知らない・・・そういう物事を勉強するのなら、シンプルなフォーミュラが一番だと思います。

また、いつもサーキットでお目にかかる、現在日本のフォーミュラカテゴリーで活躍するトップドライバーたちからも口を揃えて「ドライビングやマシンのセッティングの技術を磨くならフォーミュラだね」というアドバイスを受けてました。

そういえば、今GTやルマンで活躍しているドライバーも、ほとんどがフォーミュラ経験者ですね。

そこで、フォーミュラへのステップアップやどんな方法で始められるかを調べ、ファーストステップとして、数々のトップドライバーを生み、昔からサーキットでそのチーム名を目にするZAPSPEEDのドライバーオーディションに挑戦することにしました! <http://www.zap-speed.com/>



ZAPSPEED 池川ディレクターに指導頂きました



ZAPSPEEDドライバーオーディション参加者の皆さんと

12年10月19日、ZAPSPEEDドライバーオーディション@もてぎに参加。

カートに比べ数百キロ重い車体を止めるためのブレーキング……。

そして箱車に比べて数倍シビアなマシンの動きに最初は戸惑いました。オーディションは広い敷地でパイロンを使ってシケインなどを作った安全なコースですが、平地に見える路面もちょっとしたバンクがあり、アクセル量のバランスが合わないとなすピンに繋がります。参加者の経験も様々で、カートから上がってくる多くの参加者がまず戸惑いをもつのはギアチェンジやクラッチの存在。運転免許を持ち、マニュアル車の運転経験がある人の方が有利なのでは? という疑問をオーディション関係者に投げかけましたが、そういった経験で有利、不利は一切ないそうです!車の挙動をうまくとらえてるか、どう対応しているかをプロの目で審査されました。

マシンの個体差なども計算し、シビアにオーディションの順位は決まっています。

私的には面接審査も重要だと思いました!どんなドライバーになりたいのか、どんな目標や意志を持って走るのか……、これまでトップカテゴリーに上り詰めたドライバーたちは常にしっかりとビジョンを持っています。

そして、テスト結果は……、33人の受験者の中でベストタイムが11位、パイロンタッチ加算タイムで10位、車輻個体差補正ベストタイム7位、車輻個体差補正パイロンタッチ加算タイム6位という成績で、晴れて「合格」となりました〜。

今後、ZAPSPEEDの練習に精力的に参加し、今季のレース参戦プランを具体化していけたらと考えております。体力強化の目的でカートでの走りこみもしたいと思います。

そして、私の経験がフォーミュラへのステップアップを目指す多くのカーターの少しでも参考になればと考えてます。

さて、私のフォーミュラレースデビューはいつになるのかな〜?今からワクワクドキドキ、楽しみで仕方ありません。

塚本奈々美 <http://nana-jkb.com/>

【次回のZAPSPEEDオーディション情報】
オーディションサイト
<http://www.zap-audition.com/>
3月15日(金)資料請求
3月22日(金)参加申込
3月29日(金)実技審査
3月30日(土)面接審査